＜報道発表資料＞
（経済同時）

京都市
CITY OF KYOTO

令和８年１１月２７日
京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室

京都の未来をつくる人と挑戦を、社会にひらく。

「未来を語る対話会」の開催



京都市では、スタートアップ支援や起業家のコミュニティ形成に取り組む交流拠点（コワーキングスペース・シェアオフィス等）の運営事業者の支援に取り組んでいます。

この度、交流拠点等を拠点として、京都で新たな価値づくりに取り組む実践者による事例報告やトークセッション、交流拠点の紹介、参加者同士のネットワーキングを行う「未来を語る対話会」を開催します。

当日の様子は、「KYOTO MAGAZINE」（2月末発売号）に掲載するとともに、「京都エンタメTV」で配信する予定です。

【概要】

● イベント名称
京都の未来をつくる人と挑戦を、社会にひらく。「未来を語る対話会」

● 日時
令和９年１月２０日（水）午後５時～午後７時　＜受付：午後４時３０分～＞

● 会場
QUINTBRIDGE（クイントブリッジ）
〒534-0024　大阪府大阪市都島区東野田町4丁目15番82号
アクセス：各線「京橋駅」から徒歩約10分

● 主な対象者

・コワーキングスペース、シェアオフィス等の利用者及び運営者
・京都での創業、就職、事業展開等を考えている方
・企業、大学、行政等の関係者
・地域での活動や新たな挑戦、京都の未来に関心のある方　など

● 参加費

無料

● 定員

５０名（先着順）

【内容・プログラム】

1　事例報告セッション

京都で新たな事業や活動に取り組むお二人から、取組を始めたきっかけや、京都のまち・人とのつながり、これから挑戦したいことなどをお話しいただきます。

＜登壇者＞

・團　翔太 氏（橙十 代表取締役）



株式会社橙十 代表取締役。大阪府吹田市出身。制作会社の統括責任者として映像制作の PM や DX 化を担当。京都へ移住後、2025 年に法人化。大阪・関西万博で約 30 カ国のナショナルデーをコーディネート。現在は、ソーシャルグッドな企業・団体の伴走支援、動画メディア「awai_」の運営を行う。

・関谷　美和 氏（株式会社ディー・エヌ・エー）



京都市生まれ。洛南高校、北海道大学工学部卒。大学在学中に起業、事業譲渡を経験。

DeNA に新卒入社し、新規事業立ち上げをリード。現在は採用戦略部にて歴代最年少でマネージャーを務める。

京都では、約 10 年前に廃業した明治創業の家業である「鱧厚焼き玉子」の復活に夫と挑戦中。来年、春に京都へ U ターン予定。

2　京都市内の交流拠点の紹介

京都での活動や挑戦を支える拠点（コワーキングスペース、シェアオフィス）の運営団体や利用団体から、各拠点の特徴や取組、利用方法などを紹介します。

＜登壇拠点・利用者＞

拠点名・団体名
Impact Hub Kyoto（一般社団法人 Impact Hub Kyoto）
イノベーション創出コミュニティー「STC3」（京都高度技術研究所）
オトナリラボ（株式会社オーバルプラン）
合同会社 OneRise
京都産業大学町家 学びテラス・西陣（京都産業大学）
QUINTBRIDGE（NTT 西日本）
アソボロジー（一般社団法人アソボロジー）
ノマドマ伏見（合同会社 achicochi）
ヤマガラテック株式会社

3　トークセッション

テーマ（予定）「京都から生まれる新たな価値、共創で描くこれからの京都」

事例報告をもとに、京都で活動する中で生まれた人や場とのつながりや、京都ならではの挑戦の可能性について、それぞれの立場から話を深めていきます。

＜登壇者＞

・團　翔太 氏（橙十 代表取締役）

・関谷　美和 氏（株式会社ディー・エヌ・エー）

・拠点管理者、利用者

・芝野　友基（京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室）



京都市役所にてスタートアップ・エコシステム形成を担当。主な業務として、CxO 人材の育成コミュニティ「Kyoto Next CxO Community」の運営や、大学発ベンチャー等との産学交流支援を行っている。また、社会課題解決型のピッチコンテスト「IMPACT FLOW KYOTO」の企画運営などを通じて、地域内の起業支援環境の整備を進めている。

＜モデレーター＞

・科田　小太郎 氏（ART&MIND 株式会社 代表取締役）



京都を拠点に、伝統産業・文化・地域資源を活用した事業企画や新たな価値創出に取り組む。15 年以上にわたるアパレル・IP ビジネスの経験を活かし、企業・クリエイター・行政・地域をつなぐ企画屋として、事業開発や共創プロジェクトの企画・推進を行う。
2025 年度～ 京都市まちづくり協働コーディネーター
2026 年度～ 京都市産業技術研究所 UC 企画委員

・松田　えりか 氏（ダンサー）



幼少期よりバレエを学び、テーマパークや京都水族館でパフォーマーとして活動。京都の魅力に惹かれ移住し、2023年から 2026 年にかけて YouTube 番組「京都エンタメ TV」にリポーターとして出演。現在は司会として様々なイベントに登壇するほか、バレエスクール講師として指導に力を注いでいる。

【タイムスケジュール】

時間	内容
16:30～17:00	開場・受付
17:00～17:05	開会、趣旨説明
17:05～17:15	事例報告①　團 翔太 氏（橙十 代表取締役）
17:15～17:25	事例報告②　関谷 美和 氏（株式会社ディー・エヌ・エー）
17:25～17:45	京都市内の交流拠点等の紹介
17:45～18:30	トークセッション・質疑応答
18:30～19:00	ネットワーキング
19：00	閉会

【申込方法】

下記申込 URL は右記の二次元コードより、サイトにアクセスしお申込みください。

・申込URL　https://forms.gle/8BM7qNkSWJ9uAWrA7

・申込期間　令和８年１１月２７日(金)午前１０時～令和９年１月１９日(火)午後5時

【主催等】　主催：京都市　共催：QUINTBRIDGE　運営：株式会社大垣書店

【問合せ先】京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室
Tel　075－222－3339　メール　startup@city.kyoto.lg.jp

○　KYOTO MAGAZINE（キョウトマガジン）

京都に本社を置く大垣書店が、「ローカルに生きる、大人の京都マガジン」をコンセプトに年 4 回発行する季刊誌。京都の文化・人・場所を取材し、その魅力を発信している。

○　京都エンタメTV

京都で暮らすディレクター目線による、京都の「人・モノ・コト・街・食」の魅力を発信する YouTube チャンネル。令和 9 （2027）年頭に再始動予定。

○　QUINTBRIDGE（クイントブリッジ）

NTT 西日本が運営する、企業、スタートアップ、自治体、大学等が自由に交流し、共創を通じて社会課題の解決や新たな価値創造を目指すオープンイノベーション施設。